



ここにひまわりを...
たね 第16号
ひまわり

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索
0978-52-2233 http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念
・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針
・利用者があるがままの姿を受け入れ、見守り、優し(安らぎのある施設)にします
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく(気持ちの良い態度)で接します
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

行事報告

瑞雲荘

誕生日会(8・9月の誕生日者)

8月12日



今回の誕生日会は8月、9月の方で、5名の誕生日をお祝いました。

その中で最高齢の方は96歳の誕生日を迎えられました。

余興では、まず職員による浪曲披露。披露された浪曲を覚えていた利用者様があらわれて、「昔を思い出した」、「とても良かった」との声を頂きました。

その他には、プレゼント引きゲーム、盆踊りでは利用者様、そのご家族も参加され、



いい輪ができていました。一緒に踊れない利用者様も笑顔でご覧になられていたのが印象に残っています。

(山田・丸・大江)

平成20年度 第一回 瑞雲荘運営支援委員会

7月24日、午後2時より平成20年度第一回目の瑞雲荘運営支援委員会が開かれました。

開会挨拶に続き、藤本事務長が平成19年度の瑞雲荘の経営状況報告を行い、次に重松相談員より入所者の概況及び処遇、職員の研修状況、施設行事等の報告が行われました。この報告の中で事故・ヒヤリハットに関する件数報告も行われ、堀田副市長より、「一般的に見て(件数が)多いのか」との質問があり、工藤委員長より、「入所されている方の状態にもよる。あがっている件数が特段多いとは思わない。逆に極端な話、毎月1名ずつ骨折する可能性だってある。ただ、何を持って事故と位置づけるかはそれぞれの施設で違うのだが、ヒヤリハット件数が多いという事は、職員が色んな事に気づいている証拠だと肯定的に受け止めている」と回答していただきました。

続いて真田統括施設長より、瑞雲荘の建替計画案について説明が



あり、各委員さんより活発な意見をいただきました。

今回は、計画案の提示のみという事で、今後、ひまわり、杵築市、そして家族会の皆様との協議を重ねて行き、特にご家族の意見・意向を集約した上で、次回の瑞雲荘運営支援委員会まである程度の進展と報告ができるようにするということを確認し、閉会しました。

瑞雲荘では、9月15日に家族会の開催を予定しており、その際にこの件に関して、ご家族の皆様のご意見やご意向を伺う予定にしています。

瑞雲荘からご家族に送付していただきます。是非、たくさ



当日は天気にも恵まれ、沢山の方々が見に来てくださいました。

8月2日、恒例の「まわるひまわり盆踊り」を開催しました。ひまわり開設時から10回目の記念開催となり、盆踊り実行委員をはじめ、連日夜遅くまで準備や、踊りの練習に励みました。ロボットみたいなおどりの私もおどることに、なんとか??見られるようになり、盆踊り前日に「明日は...」と、利用者様に尋ねると、「何着ていこうか楽しみにしちよんので」とか、「行くでえ」と即答してくれました。



今年も太鼓と口説きは「美濃崎保存会」の皆様にご協力を頂き、ひまわりのある守江地区の方々をはじめ、近隣の方もそろいの浴衣等で踊りの輪を作っていました。

また職員も華やかな浴衣や、色鮮やかなひまわりのハッピに身を包み、汗を光らせ、踊りました。



最初は誘っても踊ってくれなかつた方も、二周とすると自然と輪に溶け込み、大きな輪になって行くのがとても嬉しかったです。最後は「おたのしみ抽選会」を行い、地元の方に「特等」が当たるなど、大いに盛り上がり、大盛況でした!!

皆さんご協力ありがとうございました。ごさいました。

(岩本)



毎月10日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 藤本晴夫

編集後記

「介護サービス情報公表」という制度があり、毎年調査表を提出し、今年で三回目になります。介護士や勤務している職員にはおなじみ?になりつつある調査ですが、一般の方にはどうやら知られていないか?と疑問があります。また、インターネット環境が普及し、調査項目を見ても一般の方が内容を理解するのは大変ではないかと。おまけに事業者は公表手数料と実地調査手数料(書類があるかないかの調査)を合わせて4万5千円(08年度)も一事業所ごとに支払わなければならないと聞かれました。

(ひまわりは6事業所)通常は介護報酬の中からこの支払いが行われることになりました。提出しなければ「行政処分」の対象です。「制度」なので従わなければならないませんが、事業者にはさまざまな課題(スクロース(公開)を求めると、せめて「公表」ページのPV(アクセス数)くらいは公開していただくのは公表していただく藤本

きつきの里 デイサービスセンター

連日北京オリンピックで熱戦が繰り広げられる中、きつきの里デイサービスセンターでは、暑い暑い夏に負けない行事で盛り上がっています。



8月8日・12日「納涼祭」を行いました。スイカ割り・ヨーヨー釣り・輪投げ・くじ引きと、盛りだくさんの夏祭りです。

各施設の行事報告

スイカ割りでは、挑戦者続出!! 「まっすぐまっすぐ」「右」「左」「まだ前、もう一歩前」「さあ打て」などと、目隠しをした挑戦者に大きな歓声がフロア一いつぱいに響きました。



鋭な眼差しと、釣れた時の笑顔がとても印象的でした。いつもは眺めていることが多く利用者さんでも、ご自分からやりたいと積極的

三楽園の葉月(8月)

新暦では、9月上旬から10月上旬の秋にあたるため葉の落ちる月「葉落ち月」が転じて「葉月」

三楽園 デイサービスセンター

7月24日(木) : 土用の丑の日

夏ばて防止にうなぎを食べて夏を乗り切りましょう!とやることで、この日の昼食は、三楽園オリジナルのうなぎをを用意いたしました。利用者の方から「おいしかったヨ」と絶賛の声を頂きました。



各施設の行事報告

↑上から下へとソーメン流し↓ またまた、暑い夏を乗り切りましょう!という事で 7月29日

(月)より、皆さんと一緒にソーメン流しを行いました。本物の竹を使い、風流で贅沢な一時を過ごし、皆さんから...



に参加してくださいました。そして、お祭りのトリを飾ったのは、職員全員による、「長そうめん早食い競争」。2メートル以上ある長いそうめんに、一斉に食らいつく姿に利用者様も大爆笑!!鼻から、口からそうめんが...



皆さん童心に返ったように大はしゃぎでした。帰りに「皆さん今日は疲れたんじゃないですか?」と聞くと「いいえ。楽しかったわあ。」「こんなにはしゃいだんはいつぶりかえ」と返ってきた言葉に、私自身、満面の笑みがこぼれてしまいました。その他、毎月出かける「お買い物」は、なくてはならない行事になっていくように、メモ紙に書いて来られる方。「醤油やらみりん、油は重たいからなあ」とか、



「あれえー」と色んな声が上がりました。また、上手に取れた方が取れない方に差し上げる姿を見て、さすが優しく仲の良い三楽園の皆さんですね!と思えました。皆さん、お腹はいっぱいになり大満足の日でした。

「おいしーね!」と満面の笑みを浮かべながら歓喜の声と笑顔を頂きました。色とりどりのソーメン(玉子・抹茶・梅・白素麺)が流され、皆さんは箸を持っていざソーメンへ!!「よし取れたぞ」や

まわるひまわり 盆おどり

8月2日(土)

今年も、みなさんが待ちに待った夏の風物詩である盆おどりが盛大に開催されました。三楽園の職員ももちろん参加。多くの方々の協力を頂き最高の盆おどりができました。ありがとうございます。



「ひとりじゃなかなかいけれんならなあ。楽しみにしちよんので」と言う声を聞きます。レジではマイバック(エコバック)を持参される方も多くなっています。



厨房では、「暑い夏に負けないで!」と言うことで、「スタミナメニュー」として、夏バテ防止効果や食欲増進効果のある食材を使って食事を作ってくれています。ニンニク・生姜・しそ・オクラ・山芋・レバー・キムチ・旬の夏野菜など...。食事には、皆さんの健康を配慮した厨房さんからの熱いメッセージが込められています。今後も、しっかりと味わって、噛みしめて、熱いメッセージを感じてくださいね。

暦の上では秋を迎えましたが、まだまだ猛暑日が続いております。熱中症や夏風邪、もちろんケガにも注意してくださいね。来月はいよいよ「敬老会」です。またまた職員がひと肌脱ぎます!! お楽しみに!



瑞雲荘

レクリエーション風景

(盆踊り練習・旗揚げ) 8月3日



8月23日の盆踊りも近づいてきましたので利用者様とともに盆踊りの練習を行ないました。職員が踊るのを見て、手拍子をしながら笑顔で見る方、一緒に

になって手を動かす方と、盆踊り本番前に職員も利用者様も一生懸命でした。盆踊りの練習が終わると今度は旗揚げ運動。利用者様の御家族にも参加して頂き赤旗白旗を上げたり下げたりと、声を掛ける職員に間違えさせられないように真剣そのもの。これからいろいろなレクリエーションに参加してくださいね。



(山田・一丸・大江)